中国・華東師範大学との院生交流参加者募集

教育学研究科院生の皆さん

日本と中国は今年、国交回復40周年を迎えますが、両国とも政治が不安定になり、領土を含めた政治的な問題が山積しています。このようなときこそ、学術・文化の交流を強め、両国の民衆レベルの相互理解を深めることが必要です。

今年度冬学期に、華東師範大学教育科学学院との交流を計画しています。華東師範大学教育科学学院は、中国でも有数の教育研究・教育機関です。本研究科と交流協定を結んでおり、本研究科にも留学生が在籍しています。

院生交流は、相互に院生を派遣し合い、ミニシンポジウムを開催して、教育学にかかわる課題を検討し合い、相互の理解と友好を深めるだけでなく、社会見学などを通して、相手先の文化への理解を深めることも目的としています。

下記の要領で交流を進める予定にしており、この交流事業への参加者を募集します。

華東師範大学との交流参加者募集要項

１．　募集人数：5名（大学院修士課程・博士課程在籍者）

２．　応募資格：下記の交流に参加できる人

（1）11月15日から18日に予定されている華東師範大学からの訪問と交流活動に参加できる人（全日程が望ましいが、無理な場合には、相談して下さい）

（2）11月28日から12月1日に予定されている東大から華東師範大学への訪問に全日程参加できる人

（3）11月16日と11月29日に日中双方で予定されている院生のみにシンポジウムで発表できる人

（4）できるだけ多くの研究室にまたがるように選考します。（応募者多数の場合には、研究室の分布を優先して、その後、抽選とします。）

（5）国籍は問いませんが、ビザを必要とする人は、各自で取得して下さい

３．　渡航経費：全額研究科から支給します（小遣いなどは自費）

交流予定スケジュール

１．　華東師範大学からの訪問

11月15日　来日・歓迎レセプション

11月16日　附属学校見学・院生シンポジウム・交流パーティ

11月17日　上野公園・東京スカイツリー

11月18日　帰国

２.　東京大学からの訪問

11 月 28 日　渡航

11 月 29 日　院生シンポジウム・市内見学

11 月 30 日　附属学校見学

12 月　1 日　帰国

院生シンポジウムの内容

１.　テーマ：教育改革の課題と展望：東アジアの視点から（仮題）

２.　発　表：一人 30 分（各会場 4～5 名、日本側 2～3 名・中国側 2～3 名）

15 分発表、10 分通訳、5 分質疑応答（全体討論も予定）

３.　発表内容：テーマに即した形で、各自の研究内容を発表、交流

４.　使用言語：日本語・中国語・英語のいずれか（同時ではありませんが、通訳をつけます）

応募手続き

１.　応募先：牧野研究室（生涯学習基盤経営コース）

mail: makino@p.u-tokyo.ac.jp

２.　締め切り：2012 年 10 月 5 日（金）まで

３.　採用通知：2012 年 10 月 12 日（金）以前

４.　応募に際しては、氏名・学年・所属コース（研究室）・発表を考えているテーマを明記して下さい。

なお、参加者には、東京での交流について、事前に準備作業をお願いすることがあります。

多くの院生の皆さんの応募をお待ちしています。

担当：牧野（生涯学習基盤経営コース）